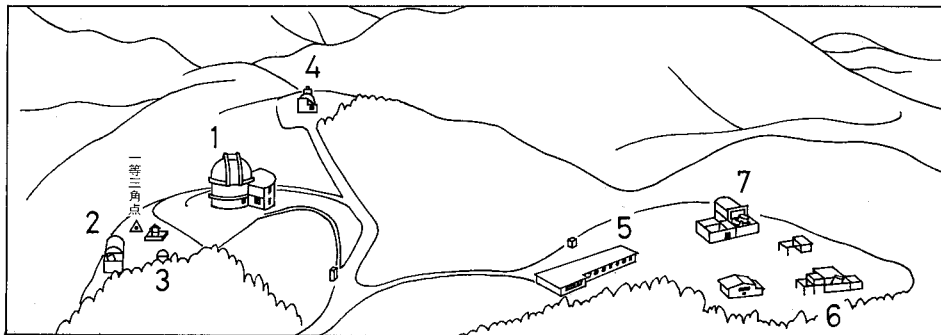
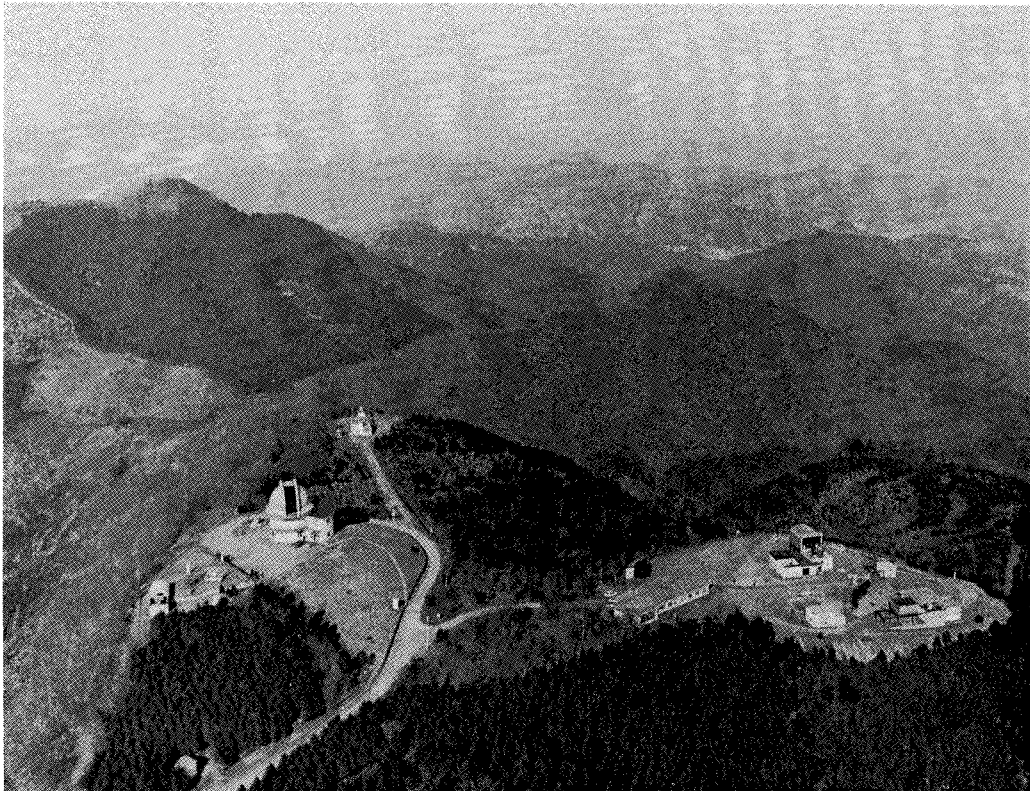


堂平観測所の近況



この全景は昨年12月14日午後、南の空から撮りました。

1. 91 cm 反鏡鏡ドームと研究棟：外観は開設時と同じですが、観測装置・測定装置，出入する職員・観測者が増してせまくなっています。いま偏光測光装置システムの製作がすすんでいて，秋からの観測期には能力をあらわすはずです。
2. 50 cm 彗星写真儀：写真の左，西側が深く平地まで落ちこむ谷で，冬の季節風を受けるのが悩みです。
3. 自動流星儀：分光写真を撮っています。ここで撮った写真の完全な解析に，関東各地のアマチュアの流星観測がたいへん役にたつのです。

4. 極望遠鏡・夜光室：夜光観測の主力は木曾観測所に移りましたが，ワールド・データ・センタ用のルーチンのデータは，いままここでの観測値です。
5. 宿舎：宿泊室数13，ベッド数16。夏でも常時数名，冬は10名～満員以上が泊り，切り盛りがたいへんです。
6. ベーカー・ナン・カメラ：約40の人工衛星を常時観測しています。
7. 月・レーザ：月に向けて装置の改良が続き，建物内はいつも活気に溢れています。かたわら，人工衛星測距が行われています。